



赤瀬川原平・畠山直哉・内藤礼・伊藤存・青木陵子・島地保武（新メンバー）

開催のお知らせ

資生堂ギャラリーでは、2015年4月4日（土）から5月24日（日）まで、「椿会展 2015-初心-」を開催します。「椿会」は、1947年から続く資生堂ギャラリーを代表するグループ展です。時代とともにメンバーを入れ替えながら、70年近くにわたり継続してきました。

第七次椿会は、2013年に赤瀬川原平、畠山直哉、内藤礼、伊藤存、青木陵子の5名で結成されました。「初心」というサブタイトルは、「3.11」から復興していく過程において、初心を問い直す時期にあるのではないかとメンバーと共に話し合い、決めたものです。「初心」とは、「何かをやろうと思いついた当初の純真な気持」（三省堂『新明解国語辞典』より）。「初心忘るべからず」は、芸の智恵を説いた世阿弥の書に、人生の様々な段階において未経験のことに挑戦していく心構えであることと記されています。

展覧会のロゴは、常に「初心」に立ち返る象徴として、グラフィック・デザイナーの仲條正義が毎年新たにデザインしています。

本展は、同メンバーによる3回目の展覧会となります。昨年10月、かねてより病氣療養中だった赤瀬川原平が急逝いたしました。しかし、今後の椿会展でも、赤瀬川の作品を展示し、存在を感じていただきたいと考えています。今回は、赤瀬川が1987年から1988年まで雑誌に掲載した絵日記を展示します。日常を独特の視点で記した、赤瀬川原平の文筆家と挿画家としての顔のみ見ていただけるものです。

さらに、第七次椿会に今回より新たなメンバーを迎えます。新メンバーは、現在ドイツ・フランクフルトのザ・フォーサイズ・カンパニーで活躍するダンサーの島地保武（しまじやすたけ）です。展覧会の会期中ギャラリーで、展示作品にインスパイアされて創作するダンスを即興で披露します。どうぞご期待ください。

そして、畠山直哉は、ドイツ各地に存在する、氷河によって運ばれた巨大石を撮影したシリーズ、内藤礼は、2013年から続けて出展している「color beginning」と「ひと」の最新作、伊藤存は、昨年銀座周辺で行った生きもの調査をもとに制作した刺繍作品など、青木陵子は、意識的に作品を作る傍らで、無意識的にできた小さなドローイングを数点展示する予定です。

新メンバーを迎え、新たな段階へと踏み出した今回の椿会展を、ぜひお楽しみください。

## ■出展作家 プロフィール

### 島地 保武 (しまじ やすたけ)

1978年長野県生まれ、ドイツ・フランクフルト在住。日本大学芸術学部演劇科演技コースに入学。モダンダンスに出会う。加藤みや子に師事。2004年から2006年までNoism（新潟市）に所属。2006年8月からウィリアム・フォーサイス率いるザ・フォーサイス・カンパニー（ドイツ・フランクフルト）に所属。現在もカンパニーで活躍中。2013年酒井はな＋島地保武によるユニット、Altneu（アルトノイ）を結成。

### 赤瀬川 原平 (あかせがわ げんぺい)

1937年横浜市生まれ。2014年逝去。画家。作家。路上観察学会会員。前衛芸術家。美術史に残る千円札裁判の被告、イラストレーターなどを経て、1981年『父が消えた』（尾辻克彦の筆名）で第84回芥川賞受賞。1989年には映画『利休』の脚本を勅使河原宏と共同執筆し、日本アカデミー賞脚本賞受賞。著書に『新解さんの謎』（文春文庫）、『超芸術トマソン』『老人力』（以上、ちくま文庫）、『個人美術館の愉しみ』（光文社新書）など多数。「老人力」は1998年の流行語となる。近年の主な展覧会：2008年「氾濫するイメージ 反芸術以後の印刷メディアと美術1960's-70's」うらわ美術館；2010年「赤瀬川原平写真展—散歩の収穫」横浜市民ギャラリーあざみ野；2012-13年「TOKYO 1955-1970／新しい前衛芸術」ニューヨーク近代美術館；2013年「ハイレッド・センター：『直接行動』の軌跡」名古屋市美術館、渋谷区松濤美術館；2014年「尾辻克彦×赤瀬川原平 文学と美術の多面体展」町田市民文学館ことばらんど；2014-15年「赤瀬川原平の芸術原論展—1960年代から現在まで」千葉市美術館、大分市美術館、広島市現代美術館。作品は、名古屋市美術館、広島市現代美術館、兵庫県立近代美術館、ウォーカーアートセンター（ミネアポリス）などに收藏されている。

### 畠山 直哉 (はたけやま なおや)

1958年岩手県陸前高田市生まれ。東京在住。筑波大学芸術専門学群にて大辻清司に師事。1984年に同大学大学院芸術研究科修士課程修了。以降東京を拠点に活動を行い、自然・都市と写真のかかわり合いに主眼をおいた、一連の作品を制作。2001年に中村政人、藤本由紀夫とともにベネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館にて展示。2011年に東京都写真美術館で個展「畠山直哉 ナチュラル・ストーリーズ」（平成23年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞）を開催など、国内外の数々の個展・グループ展に参加。2012年、ベネチア・ビエンナーレ国際建築展の日本館に参加（国別参加部門金獅子賞受賞）。作品は、国立国際美術館、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、ヒューストン美術館、ヨーロッパ写真館（パリ）、ビクトリア・アンド・アルバート美術館（ロンドン）などに收藏されている。

### 内藤 礼 (ないとう れい)

1961年広島県生まれ、東京在住。1985年武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。1991年、佐賀町エキジビット・スペースで発表した「地上にひとつの場所を」で注目を集め、1997年には第47回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館にて同作品を展示。主な個展：1995年「みごとに晴れて訪れるを待て」国立国際美術館；1997年「Being called」カルメル会修道院（フランクフルト）；2005年「返礼」アサヒビール大山崎山荘美術館；2007年「母型」入善町 下山芸術の森 発電所美術館；2009年「すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している」神奈川県立近代美術館 鎌倉；2014年「信の感情」東京都庭園美術館など。パーマネント作品として2001年「このことを」家プロジェクト『きんぞ』（直島）、また2010年には豊島美術館にて「母型」を発表。作品は、フランクフルト近代美術館、ニューヨーク近代美術館、イスラエル博物館、国立国際美術館などに收藏されている。

### 伊藤 存 (いとう ぞん)

1971年大阪府生まれ、京都在住。1996年京都市立芸術大学美術学部卒業。刺繍の作品をはじめとして、アニメーション、ドローイング、彫刻作品を制作。2003年にワタリウム美術館で個展「きんじょのはて」を開催。2006年「3つの個展：伊藤存、今村源、須田悦弘」国立国際美術館、2009年「Louisa Bufardecì & Zon Ito」シドニー現代美術館、2010-11年「プライマリー・フィールドⅡ：絵画の現在 — 七つの〈場〉との対話」神奈川県立近代美術館 葉山、2011年「世界制作の方法」国立国際美術館、2012年「別府のミミック」(KASHIMA 2012 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE 滞在制作成果展)、2013-14年「Now Japan」Kunsthall KAdE (アメルスフォールト)、2013年「磯部湯画廊／磯部湯活用プロジェクト」旧磯部湯 (前橋) など、国内外の展覧会に参加。作品は、ウォーカーアートセンター (ミネアポリス)、ワタリウム美術館、東京都現代美術館、高松市美術館、国立国際美術館などに収蔵されている。

### 青木 陵子 (あおき りょうこ)

1973年兵庫県生まれ、京都在住。1999年京都市芸術大学大学院ビジュアルデザイン科修了。動植物や日常の断片、幾何学模様などをイメージの連鎖で描き、その素描を組み合わせた作品を発表。主な個展：2002年「クリテリウム 51」水戸芸術館現代美術ギャラリー；2005-06年「HAMMER PROJECT Ryoko Aoki」ハマー美術館 (ロサンゼルス)；2010年「ワイルドフラワーのたね」オン・サンデーズ。主なグループ展：2007年「ドクメンタ 12」(カッセル)；「夏への扉—マイクロポップの時代」水戸芸術館現代美術ギャラリー；2009年「ウインター・ガーデン」原美術館；2010年「絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から」国立国際美術館；2014年「拡張するファッション」水戸芸術館現代美術ギャラリー、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館；2014年「開館 20 周年記念 MOT コレクション特別企画：クロニクル 1995—」東京都現代美術館など。作品は、ニューヨーク近代美術館、高松市美術館、東京都現代美術館などに収蔵されている。

---

## ■「椿会展 2015 - 初心 -」開催要項

主催：株式会社 資生堂

会期：2015年4月4日(土)～5月24日(日)

会場：資生堂ギャラリー 入場無料

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下1階

tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951 URL: <http://group.shiseido.co.jp/gallery>

平日 11:00～19:00 日・祝 11:00～18:00 毎週月曜休 (月曜日が休日にあたる場合も休館)

---

## ■ 関連企画

### ① 島地保武 ダンスパフォーマンス

日時：4月25日(土) 19:15～20:00

会場：資生堂ギャラリー

定員 30名 参加費無料 (お申込み多数の場合は抽選となります)

### ② 伊藤存 ギャラリートーク

日時：5月17日(日) 14:00～16:00

会場：ワードホール(東京銀座資生堂ビル9階)

定員 60名 参加費無料 (お申し込み多数の場合は抽選となります)

お申込みは3月下旬より資生堂ギャラリーウェブサイト <http://www.shiseidogroup.jp/gallery/>にてご案内予定です。お問合せ：tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

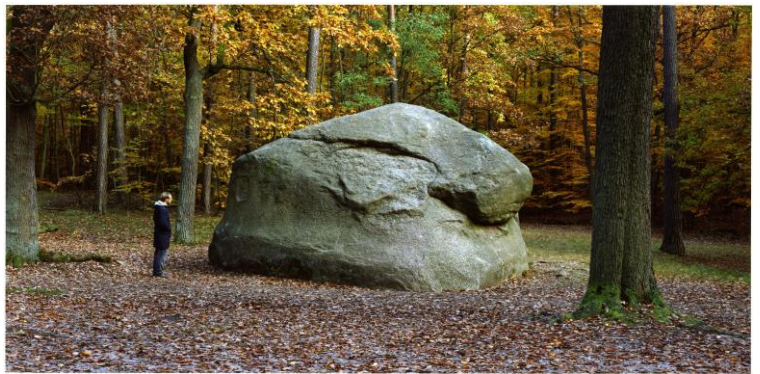
■参考写真

①



島地保武  
写真：安珠

②



畠山直哉  
from the series Findling: Markgrafensteine (2009)  
(出展予定作品)

③



④



写真③④のクレジット：

椿会展 2014 展示風景  
撮影：畠山直哉

■ 写真資料請求は下記までお願いします。  
資生堂ギャラリー 担当：永田・大橋  
tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951  
(11:00～18:00 月曜休)  
e-mail:gallery@to.shiseido.co.jp

■ 本展に関するお問い合わせは下記までお願いします。  
104-0061 東京都中央区銀座 7-5-5  
株式会社 資生堂 企業文化部 担当：豊田  
tel. 03-3575-5419 fax. 03-3575-5429  
(10:00～17:00 土日祝休)  
e-mail:gallery@to.shiseido.co.jp